

燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン
連携事業進捗状況
(令和4年度期末報告)

令和5年3月

燕市・弥彦村

目 次

I	定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組	
1	具体的取組	3
2	具体的取組の全体像	4
II	燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン進捗状況	
1	進捗状況一覧	5
2	具体的な取り組み	
	・ 病児・病後児保育事業	6
	・ 新潟大学寄附講座事業	7
	・ 看護職員修学資金貸付事業	8
	・ 介護人材定着促進事業	9
	・ 観光エリア魅力アップ促進事業	
	【首都圏等観光PR事業】	10
	【産業観光ナビゲート事業】	11
	【観光協会運営支援事業】	12
	【2次交通整備事業】	13
	【観光複合施設運営管理事業】	14
	【情報発信ツール活用事業】	15
	・ コミュニティバス運行事業	17
	・ 予約制乗合ワゴン車運行事業	18
	・ 職員合同研修事業	19
	・ 外部人材活用事業	20
III	共生ビジョン取組事務事業一覧表	21

I 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

1 具体的取組

○生活機能の強化に係る政策分野

(1) 医療・福祉

① 地域医療・福祉の環境整備（4事業）

- 病児・病後児保育事業
- 新潟大学寄附講座事業
- 看護職員修学資金貸付事業
- 介護人材定着促進事業

(2) 産業振興

① 広域観光の促進（1事業）

● 観光エリア魅力アップ促進事業（細事業6事業）

- ・ 首都圏等観光PR事業
- ・ 産業観光ナビゲート事業
- ・ 観光協会運営支援事業
- ・ 2次交通整備事業
- ・ 観光複合施設運営管理事業
- ・ 情報発信ツール活用事業

○結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(1) 地域公共交通

① 地域公共交通ネットワークの構築（2事業）

- コミュニティバス運行事業
- 予約制乗合ワゴン車運行事業

○圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(1) 人材育成

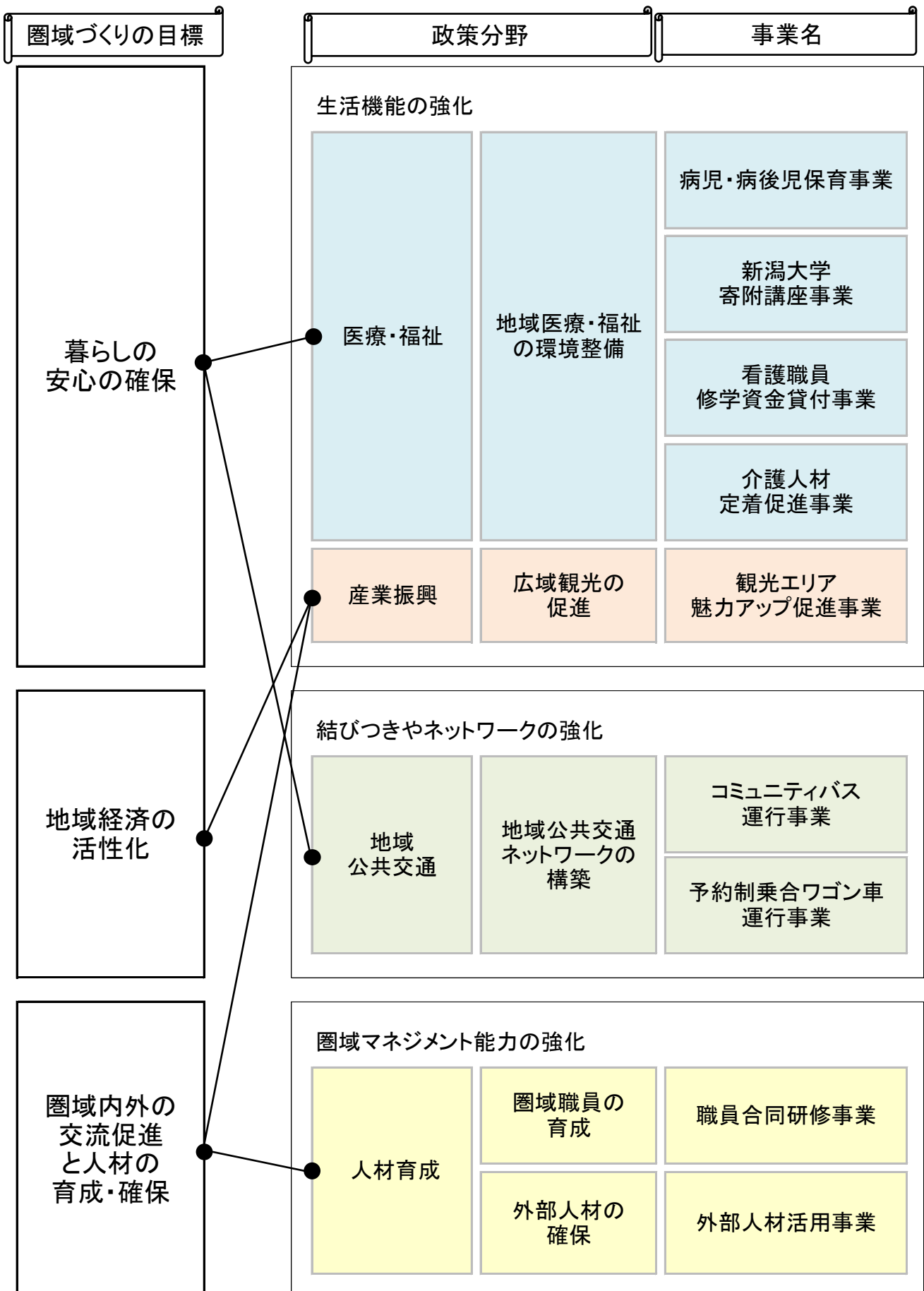
① 圏域職員の育成（1事業）

- 職員合同研修事業

② 外部人材の確保（1事業）

- 外部人材活用事業

2 具体的取組の全体像



II 燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン進捗状況

1 進捗状況一覧（全14事業）

各事業について、圏域の実情を踏まえながら実施した年度内の取り組みの進捗状況を4段階で評価しています。（4段階評価：順調、概ね順調、やや遅れている、遅れている）

■順調（3）

政策分野		事業名
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	病児・病後児保育事業
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	新潟大学寄附講座事業
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	看護職員修学資金貸付事業

■概ね順調（11）

政策分野		事業名
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	介護人材定着促進事業
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【首都圏等観光PR事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【産業観光ナビゲート事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【観光協会運営支援事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【2次交通整備事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【観光複合施設運営管理事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【情報発信ツール活用事業】
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築	コミュニティバス運行事業
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築	予約制乗合ワゴン車運行事業
人材育成	圏域職員の育成	職員合同研修事業
人材育成	外部人材の確保	外部人材活用事業

■やや遅れている 遅れている（なし）

2 具体的な取り組み

○生活機能の強化に係る政策分野

医療・福祉

- 地域医療・福祉の環境整備

事業名	病児・病後児保育事業																																																																																												
事業内容	児童が病気の治療中又は回復期にあり、保育園等での集団保育が困難で、かつ、保護者のやむを得ない事情により家庭で保育が困難な場合に、その児童を専用施設（病児保育室「あおぞら」）で一時的に預かり、保育および看護ケアを行うことで、保護者の子育てと就労の両立を支援する。				関係市村																																																																																								
					燕市 弥彦村																																																																																								
期待される効果	圏域の保護者の就労を支援するとともに、安心して子育てできる環境の充実が図られる。																																																																																												
実施状況 (R5.1末時点の 年度末見込)	<p><事業概要></p> <table border="1"> <tr> <td>対象児童</td> <td colspan="5">燕市または弥彦村に居住する生後6カ月から小学6年生までの子ども</td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td colspan="5">8人</td> </tr> <tr> <td>開設日</td> <td colspan="5">月曜日から金曜日（年末年始・祝日を除く）</td> </tr> <tr> <td>開設時間</td> <td colspan="5">8時から18時まで （早朝：8時から8時30分、延長：17時30分から18時）</td> </tr> <tr> <td>職員配置</td> <td colspan="5">保育士5人</td> </tr> <tr> <td>利用料</td> <td colspan="5">1日2,000円（ただし4時間以内1,000円）、早朝・延長は各200円 ※生活保護世帯・市民税非課税世帯は免除</td> </tr> </table> <p><登録者数及び利用者数>（単位：人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th rowspan="2">※令和4年度 は1月末時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">登録者数</td> <td>燕市</td> <td>1,379</td> <td>1,587</td> <td>1,733</td> <td>1,962</td> <td>2,169</td> <td></td> </tr> <tr> <td>弥彦村</td> <td>206</td> <td>216</td> <td>219</td> <td>227</td> <td>227</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,585</td> <td>1,803</td> <td>1,952</td> <td>2,189</td> <td>2,396</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">利用者数</td> <td>燕市</td> <td>663</td> <td>591</td> <td>82</td> <td>250</td> <td>241</td> <td></td> </tr> <tr> <td>弥彦村</td> <td>113</td> <td>66</td> <td>2</td> <td>13</td> <td>18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>776</td> <td>657</td> <td>84</td> <td>263</td> <td>259</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					対象児童	燕市または弥彦村に居住する生後6カ月から小学6年生までの子ども					利用定員	8人					開設日	月曜日から金曜日（年末年始・祝日を除く）					開設時間	8時から18時まで （早朝：8時から8時30分、延長：17時30分から18時）					職員配置	保育士5人					利用料	1日2,000円（ただし4時間以内1,000円）、早朝・延長は各200円 ※生活保護世帯・市民税非課税世帯は免除							H30	R1	R2	R3	R4	※令和4年度 は1月末時点	登録者数	燕市	1,379	1,587	1,733	1,962	2,169		弥彦村	206	216	219	227	227		計	1,585	1,803	1,952	2,189	2,396		利用者数	燕市	663	591	82	250	241		弥彦村	113	66	2	13	18		計	776	657	84	263	259	
	対象児童	燕市または弥彦村に居住する生後6カ月から小学6年生までの子ども																																																																																											
利用定員	8人																																																																																												
開設日	月曜日から金曜日（年末年始・祝日を除く）																																																																																												
開設時間	8時から18時まで （早朝：8時から8時30分、延長：17時30分から18時）																																																																																												
職員配置	保育士5人																																																																																												
利用料	1日2,000円（ただし4時間以内1,000円）、早朝・延長は各200円 ※生活保護世帯・市民税非課税世帯は免除																																																																																												
		H30	R1	R2	R3	R4	※令和4年度 は1月末時点																																																																																						
登録者数	燕市	1,379	1,587	1,733	1,962	2,169																																																																																							
	弥彦村	206	216	219	227	227																																																																																							
	計	1,585	1,803	1,952	2,189	2,396																																																																																							
利用者数	燕市	663	591	82	250	241																																																																																							
	弥彦村	113	66	2	13	18																																																																																							
	計	776	657	84	263	259																																																																																							
進捗状況 (反省点・改善点)	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている 登録者数については、チラシや登録票を入園式などで配布しており、継続的に増加している。一方、利用者数については、新型コロナウイルス感染症流行の影響により激減していることから、本事業の安定と継続的な運営が図れるよう支援に努める。																																																																																												
実施スケジュール	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																								
事業費見込 (単位：千円)	22,020	22,000	22,000	22,000	22,000																																																																																								
特定財源等	10,184	10,502	10,502	10,502	10,502																																																																																								
一般財源	11,836	11,498	11,498	11,498	11,498																																																																																								
特定財源等の名称	子ども・子育て支援交付金																																																																																												
役割分担の考え方	燕市が事業を実施し、弥彦村が事業経費の一部を負担する。																																																																																												

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	去年同期値 (R4.3末)	最新値 (R5.3末見込)	評価	目標値 (R6)
病児・病後児保育事業の登録者数	1,585人	1,991人	2,170人	◎	1,750人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

- 生活機能の強化に係る政策分野
 医療・福祉
 - 地域医療・福祉の環境整備

事業名	新潟大学寄附講座事業				
事業内容	新潟大学に設置した寄附講座により、消化器疾患対策の研究を新潟大学及び吉田病院を拠点として実施し、吉田病院を中心とした医療圏における消化器疾患の検診・教育・予防体制のモデル地区構築を目指す。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	次世代検診モデルの構築による消化器疾患の早期発見、早期治療対策の研究による地域の検診体制の強化が図られる。				
実施状況 (R5.1末時点の 年度末見込)	<p>新潟大学が県立吉田病院の消化器内視鏡センターに医師を派遣し、診療及び以下のことを実施した。</p> <p>1. 慢性疾患の早期発見、早期治療対策について 燕市の集団による特定健診等受診者のうち、同意が取れた人の血液検査データに、現状では健診項目ではない肝線維化の程度を確認するFIB-4インデックスも加え、受診勧奨レベルの研究を継続実施した。</p> <p>2. 胃がん・大腸がんに関する啓蒙活動 燕市・弥彦村においてがんの死因の半分以上を占める胃がん・大腸がんの予防と生活習慣との関係や検診の大切さについての講演会を9月30日に燕市文化会館にて実施した。174名の参加があり、男性も多く、自身のピロリ菌除菌後の検診のあり方や気になる症状についてなど、活発に質問が出るなど関心の高さが伺えた。</p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている 今年度は胃がん・大腸がんについての知識とがん検診受診の重要性についての講演会を実施し、住民の健康づくりに寄与している。来年度も住民の健康意識を高める事業の実施と寄附講座における研究への協力により、消化器疾患の検診・教育・予防体制のモデル地区構築を目指し実施していく。				
	実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5
事業費見込 (単位：千円)	7,480	7,480	7,480	7,480	7,480
特定財源等	-	-	-	-	-
一般財源	7,480	7,480	7,480	7,480	7,480
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標 (KPI)】

指標	基準値 (H30)	去年同期値 (R4.3末)	最新値 (R5.3末見込)	評価	目標値 (R6)
県立吉田病院 消化器内科医師数	4人	5人	4	◎	4人

※達成状況は3段階で評価 (◎:目標値を達成、○:目標値に向かって順調、△:遅れている)

- 生活機能の強化に係る政策分野
 医療・福祉
 - 地域医療・福祉の環境整備

事業名	看護職員修学資金貸付事業				
事業内容	看護師等を養成する学校又は養成所に在籍し、将来県央医療圏において看護職員として業務に従事しようとする者に対し、市村が指定する医療施設に継続勤務した場合に返還が免除となる修学資金の貸与を行い、県央圏域の看護師不足の解消と人材の地元定着を図る。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	圏域を含む県央医療圏における看護職員の確保及び人材の地元定着が図られ、圏域の医療体制の維持・充実につながる。				
実施状況 (R5.1末時点の 年度末見込)	<p>【制度の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象者：本人または保護者が燕市・弥彦村在住で、看護師等を養成する学校または養成所に在学する人 ◆貸与月額：5万円、4万円、3万円から選択 ◆貸与期間：在学する学校・養成所の正規の修業期間（最長5年間） ◆返還免除：以下の要件すべてに当てはまる場合は、返還を免除すること <ul style="list-style-type: none"> (1) 学校や養成所を卒業後、看護職の免許を取得すること (2) 資格取得後、直ちに指定する医療機関において、当該免許を活かした業務に5年間継続して従事すること ◆その他：新潟県が実施している「看護職員臨時修学資金制度」との併用が可能 <p>【実施状況】</p> <p>燕市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規申請者…9名 ・貸与決定…9名 ・継続貸与者…11名 ※月50,000円を7月と10月に振込み ※次年度の申請を令和5年2月20日から受付開始 <p>弥彦村</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規申請者…1名 ・貸与決定…1名 ・継続貸与者…1名 ※月50,000円（1名）、月30,000円（1名）を9月と3月に振込み 				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている 新潟県の修学資金貸付制度との併用者は、燕市9名・弥彦村0名であった。今後も県と協力し、互いに周知しあうことで、事業の利用者増加に努める。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)		7,380	12,969	16,569	26,700
特定財源等		-	-	-	-
一般財源		7,380	12,969	16,569	26,700
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれが費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標 (KPI)】

指標	基準値 (R2)	去年同期値 (R4.3末)	最新値 (R5.3末見込)	評価	目標値 (R6)
看護職員修学資金貸付事業 (延べ人数累計)	—	13人	23人	○	32人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

- 生活機能の強化に係る政策分野
 医療・福祉
 - 地域医療・福祉の環境整備

事業名	介護人材定着促進事業				
事業内容	介護資格の取得経費や研修受講費の一部を助成することで介護人材の確保に努めるとともに、介護業務に精励する職員の表彰を通して、介護職のやりがいと魅力を広く住民に発信し、職員が自信と意欲を持って働き続けられるよう介護人材の定着を図る。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	介護職員が資格を取得することや表彰を受けることで、自信とやりがいを持てる職場環境が形成され、職員の離職予防や定着促進につながり、圏域における高齢者が介護サービスを安定的に利用できる。				
実施状況 (R5.1末時点の 年度末見込)	<p>【介護職員研修費助成事業助成金】</p> <p>事業所宛に制度周知のメールを一斉送信し、申請を勧奨した。</p> <p>①介護職員初任者研修（ヘルパー2級） 研修費用の1/2補助、上限7万円 R4申請者数：1名</p> <p>②介護職員実務者研修（ヘルパー1級） 研修費用の1/2補助、上限8万円 R4申請者数：11名</p> <p>③介護福祉士資格取得 登録費用の10/10、上限1万円 R4申請者数：13名</p> <p>④介護職員喀痰吸引等研修 研修費用の1/2、上限4万円 R4申請者数：18名</p> <p>※いずれも1月末時点の申請者数</p> <p>【燕市次世代を担うキャリアテン介護職員等表彰】</p> <p>燕市において今年で5年目となる燕市・弥彦村圏域の介護施設に10年以上勤務している介護職員等に、日ごろの感謝を込め表彰する「燕市次世代を担うキャリアテン介護職員等表彰式」を11月に実施。</p> <p>●令和4年度表彰者数：61名</p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている				
	申請件数が減少傾向となっている。研修の受講や資格取得につながるよう、引き続き制度周知を図っていきたい。				
実施スケジュール	R2	R3	R4	R5	R6
	➔				
事業費見込 (単位：千円)	764	615	724	1,633	1,633
特定財源等	-	-	-	-	-
一般財源	764	615	724	1,633	1,633
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標 (KPI)】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R4.3末)	最新値 (R5.3末見込)	評価	目標値 (R6)
介護人材育成事業補助金 助成者数(延べ人数累計)	147人	267	310	◎	290人

※達成状況は3段階で評価 (◎:目標値を達成、○:目標値に向かって順調、△:遅れている)

- 生活機能の強化に係る政策分野
 産業振興
 - 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（首都圏等観光PR事業）				
事業内容	首都圏を中心にイベント出展、メディアのパブリシティ活動や交通媒体等に対する観光PR活動の強化を図る。また、マスコミや旅行会社、一般消費者によるモニターツアーを実施して圏域への誘客の増加を図る。				関係市村 燕市 弥彦村
期待される効果	マスコミや旅行関係者に圏域の観光資源を直接提供することで、新たな旅行商品が造成され、首都圏からの誘客増加や新たな客層の発掘が図られる。				
実施状況 (R5.1末時点の 年度末見込)	<p>①首都圏等観光プロモーション事業 【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●通水100周年を迎えた大河津分水の魅力を広く周知するため、大河津分水関係施設や燕・弥彦の観光地など取り入れた募集型企画旅行を催行した旅行事業者を対象に、補助金を交付した。 ※申請件数：15件（1月末現在） ●高速道路を利用して周遊する観光客等にPRするため、関越自動車道「赤城高原SA下り」、「上里SA下り」に燕・弥彦観光ガイドなどを設置した。 ●新潟県観光商談会に参加し、県外の旅行会社に燕・弥彦の観光プレゼンテーションを実施した。 ※開催場所：東京都、大阪府、愛知県、埼玉県、群馬県、福島県、富山県 ●新潟総合テレビなど北信越福島5局による共同制作番組「北信越福島行楽マップ2022」に参加し、燕・弥彦の観光スポットの情報発信を行った。 ※放映日：R4.7.17 <p>②インバウンド事業 【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●タイガーエア台湾の新潟空港就航(R5.1.17)など、インバウンドが再開したことから、台湾からの誘客促進のため、3年ぶりに現地台湾でのプロモーションを実施した。 ※R5.2.13～16 現地旅行会社等17社訪問 ●ポストコロナにおけるインバウンド誘客の促進のため、北陸信越運輸局と連携して、燕・弥彦地域の「メタバースを用いた訪日外国人旅者の受入環境に関する検証事業」を実施した。 				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている <p>①首都圏等観光プロモーション事業 観光入込客数が回復基調にあることから、ツアー造成補助を拡充するなど、アフターコロナに向けて各事業を推進していきたい。</p> <p>②インバウンド事業 インバウンドも回復基調にあることから、ツアー参加者や2次交通利用者向けの支援策を拡充するなど、誘客促進を図っていきたい。</p>				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	10,750	10,000	10,000	10,000	10,000
特定財源等					
一般財源	-	3,750	3,750	3,750	2,750
特定財源	10,750	6,250	6,250	6,250	7,250
特定財源等の名称	デジタル田園都市国家構想交付金				
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用負担をする。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

- 生活機能の強化に係る政策分野
 産業振興
 - 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（産業観光ナビゲート事業）				
事業内容	各種観光イベントの企画運営の強化拡充と観光客や団体視察などの受入体制を充実させるため、観光ナビゲーターの確保育成を図る。				関係市村
					燕市
期待される効果	圏域を訪れる観光客の滞在時間の増加やリピーター率の増加などにより、地域住民と観光客の交流の場の拡大が図られる。				
実施状況 (R5.1末時点の 年度末見込)	①観光ナビゲーターの活用 【実施状況】 ・燕市観光協会で観光ナビゲーターを3名採用 ・観光案内業務 ・修学旅行や企業視察のコース提案及びオペレーションを実施 ※産業観光視察受入実施状況：9,622人（1月末現在） （令和3年度実績：9,327人） ②新たな観光資源の発掘や体験型観光の企画開発 【実施状況】 ・タンブラーの銚目入れ体験、コーヒースプーンの酸化発色体験、彫金体験、銚器銅器体験 等				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている				
	アフターコロナに向かって産業観光視察の受入数も増加傾向にある。今後も工場見学が可能な事業所の発掘や事業所の受入体制の整備などを支援することで、産業観光受入数の増加につなげていきたい。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	→				
事業費見込 (単位：千円)	9,601	9,601	9,914	10,000	10,000
特定財源等	4,800	4,800	4,957	5,000	5,000
一般財源	4,801	4,801	4,957	5,000	5,000
特定財源等の 名称	デジタル田園都市国家構想交付金				
役割分担の 考え方	燕市が事業を実施し、費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

- 生活機能の強化に係る政策分野
 - 産業振興
 - 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（観光協会運営支援事業）				
事業内容	燕市と弥彦村の観光に係るイベント開催、観光情報の発信を担う観光協会の運営事業を支援することにより、圏域の観光客誘致を効果的に実施する。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	圏域の観光の魅力を一時的に情報発信させることで、観光客が圏域を訪れる契機となったり、リピーター率の増加が図れるなど、交流・応援人口の拡大が図られる。				
実施状況 (R5.1末時点 の年度末見 込)	<p>●（一社）燕市観光協会</p> <p>【1. 観光イベント開催事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つばめ桜まつり 4月17日(日)分水総合体育館を会場に、「2022つばめ桜まつり分水おいらんど中―大河津分水通水100周年記念―」と題し、来場者管理を行いながら特別開催した。室内でも大河津分水の桜並木をイメージできる特別な演出（映像を投影）の中、一太夫、付き人17名で道中を3回開催した。 ※観覧者・視聴者：約1,300人 ・越後くがみ山酒呑童子行列 9月の1カ月間を「鬼月間」とし、PRと各所で催しを開催した。 9月25日(日)「酒呑童子行列」を道の駅国上で実施した。 感染症対策のため、一般参加者の募集は控え、鬼軍団で行列を実施した。 来場者に加え、鬼月間と連動することで、イベントPRに努めた。 来場者数：約4,000人 <p>【2. 観光プロモーション事業】</p> <p>燕市の魅力を発信していくため、ツール媒体、既存媒体等への広告掲載などを行い、燕市の知名度向上と誘客促進を図った。</p> <p>●（一社）弥彦観光協会</p> <p>感染症による影響が落ち着いてきており、感染症拡大防止に取り組みながらイベントを開催することが可能な状況になってきている。 県の「消費喚起・需要拡大プロジェクト」応援事業補助金を活用した「謎解きアドベンチャー」や弥彦村地域振興事業補助金を活用した「やひこ浴衣でまちあるき」「山の日フェスタ」などの屋外周遊を促す事業を実施し、感染症の拡大防止とイベントの開催の両立を図っている。3年目となる「やひこ浴衣でまちあるき」については224人の利用者、前年比112.5%と好評であった。「謎解きアドベンチャー」は弥彦のまち歩きの特徴を活かした創意工夫のある事業となっている。</p>				
進捗状況 (反省点・改 善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている				
	今年度は、多くのイベント事業について条件付きながらリアル開催が実現した。今後は、本格的なイベント再開に向けて調整を図っていきたい。				
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	➔				
事業費見込 (単位：千円)	47,848	41,230	51,374	50,300	50,300
特定財源等	3,641	3,500	-	-	-
一般財源	44,207	37,730	51,374	50,300	50,300
特定財源等の 名称	デジタル田園都市国家構想交付金				
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

- 生活機能の強化に係る政策分野
 産業振興
 - 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（2次交通整備事業）																									
事業内容	JR燕三条駅や弥彦温泉から出発する2次交通を整備することにより、観光客の交通手段の利便性の向上を図る。				関係市村																					
					燕市 弥彦村																					
期待される効果	圏域を訪れる観光客の滞在時間の増加やリピーター率の増加などにより、地域住民と観光客の交流の場の拡大が図られる。																									
実施状況 (R5.1末時点の 年度末見込)	燕市や弥彦村を中心とした観光地を巡る日帰りタクシープラン 「燕・弥彦を観光タクシーでめぐる旅」の運行 【事業内容】 運行日：令和4年4月上旬～令和5年2月下旬 ※コースによって運行日が異なります。 料 金：大人、子供ともに4,000円(新潟ワインコースト4,500円) 【実施状況】 （1月31日現在） 運行本数25本 利用人数70人 東京43人・神奈川7人・千葉5人・新潟4人・その他11人 [各コース内訳] <table border="0" style="width:100%;"> <tr> <td>・いいところ巡りコース</td> <td>運行本数：15本</td> <td>利用人数：42人</td> </tr> <tr> <td>・越後平野のルーツに触れるコース</td> <td>運行本数：2本</td> <td>利用人数：6人</td> </tr> <tr> <td>・燕の工場巡りコース</td> <td>運行本数：0本</td> <td>利用人数：0人</td> </tr> <tr> <td>・良寛巡りコース</td> <td>運行本数：2本</td> <td>利用人数：5人</td> </tr> <tr> <td>・弥彦満喫コース</td> <td>運行本数：2本</td> <td>利用人数：9人</td> </tr> <tr> <td>・新潟ワインコーストコース</td> <td>運行本数：4本</td> <td>利用人数：8人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align:right">計 25本</td> <td style="text-align:right">70人</td> </tr> </table>					・いいところ巡りコース	運行本数：15本	利用人数：42人	・越後平野のルーツに触れるコース	運行本数：2本	利用人数：6人	・燕の工場巡りコース	運行本数：0本	利用人数：0人	・良寛巡りコース	運行本数：2本	利用人数：5人	・弥彦満喫コース	運行本数：2本	利用人数：9人	・新潟ワインコーストコース	運行本数：4本	利用人数：8人		計 25本	70人
・いいところ巡りコース	運行本数：15本	利用人数：42人																								
・越後平野のルーツに触れるコース	運行本数：2本	利用人数：6人																								
・燕の工場巡りコース	運行本数：0本	利用人数：0人																								
・良寛巡りコース	運行本数：2本	利用人数：5人																								
・弥彦満喫コース	運行本数：2本	利用人数：9人																								
・新潟ワインコーストコース	運行本数：4本	利用人数：8人																								
	計 25本	70人																								
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている																									
	感染症の規制緩和や数年ぶりのイベントの開催などにより、県外からの利用者が増加傾向にある。今後は、インバウンド向けのコンテンツの新設など、多くの方々から利用されるコースを設定することで、更なる利便性の向上を図っていきたい。																									
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6																					
	➔																									
事業費見込 (単位：千円)	4,500	2,000	2,000	2,000	2,000																					
特定財源等	-	750	750	750	750																					
一般財源	4,500	1,250	1,250	1,250	1,250																					
特定財源等の名称	デジタル田園都市国家構想交付金																									
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。																									

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

- 生活機能の強化に係る政策分野
 - 産業振興
 - 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（観光複合施設運営管理事業）				
事業内容	複合的な誘客施設である「道の駅国上」や「おもてなし広場」等において、圏域を訪れる契機となるよう、地場農産物等のPR拡充と販売促進を積極的かつ効果的に 行う。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	施設の魅力を向上させることにより、観光客が圏域を訪れる契機となり、交流・応援人口の拡大が図られる。				
実施状況 (R5.1末時点の 年度末見込)	<p>●道の駅国上 令和4年度より新たな指定管理者のもと、【自然と遊ぶ道の駅】をコンセプトとした自然観光の交流拠点として、7月1日リニューアルオープン。9月末、愛称「SORAIRO国上」に決定。 【売店・食堂】これまでの売場スペースを2倍以上に拡大。「ファーマーズマーケット&アウトドア」をテーマに、農産物中心のアイテムと金属製品はキャンプエリアとの親和性を考慮し、アウトドア用品を中心に販売。 食堂は指定管理者のもと、メニューを刷新。燕背脂ラーメンの地元人気店も加わり、燕のソウルフードをPR。 【公園】デイキャンプエリア・バーベキュー広場を新設。コンテナハウス3棟を設置し、ピザ・カフェ等飲食を販売。足湯スペースは内装を一新し「足湯テラス」にリニューアル。冬場はストーブを設置し利用しやすい環境整備を行っている。 【イベント】 7月のオープニングイベントをはじめ、週末に集客イベントを開催。10月「秋のわくわく収穫祭」12月「冬の美味しい収穫祭」1月1日元旦初売り、1月15日には「国上塞の神」、また他の道の駅と連携した産直市などを開催し、冬場でも集客が増加するような仕掛けを行い、売上も伸びている。 R4年4月～R5.1月末 来館者数：253,846人 前年度：132,525人 前年比191.5% 売店・食堂売上：193,331,713円 前年度：73,686,543円 前年比262.4%</p> <p>●おもてなし広場 昨年新たに2店舗がオープンし、売上は好調。来場者数も増加傾向にあり、既存店舗も順調に売上を伸ばしている。3年ぶりの開催となった「弥彦灯籠まつり」や「水曜どうでしょうキャラバン2022」等のイベント開催による観光客数の増加が売上の増加に寄与したものとみられる。 R4.4月～12月末 来館者数：100,020人 前年度：100,180人 前年度比99.8% (12月来館者数は荒天により前年同月6,940人に対し5,160人に減少した) 売上額：146,733,168円 前年度：138,518,899円 前年度比105.9%</p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている 環境整備を行いながら、イベントなどの誘客事業の実施により、更なる交流人口の増加に努めていきたい。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	30,509	37,769	39,052	32,901	30,401
特定財源等					
特定財源等	-	-	13,929	12,500	14,000
一般財源	30,509	37,769	25,123	20,401	16,401
特定財源等の名称	デジタル田園都市国家構想交付金、指定管理者納付金				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

- 生活機能の強化に係る政策分野
 - 産業振興
 - 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（情報発信ツール活用事業）															
事業内容	圏域の魅力を効果的に伝えることができる観光PR用ポスター、DVDを作成し、情報発信ツールとして活用を図る。				関係市村											
					燕市 弥彦村											
期待される効果	圏域の魅力を情報発信することで、観光客が圏域を訪れる契機となり、交流・応援人口の拡大が図られる。															
実施状況 (R5.1末時点の 年度末見込)	①燕市・弥彦村観光PRマップの活用 【実施状況】 ●令和2年度に作成した「燕と弥彦ぐるぐるMAP」の内容を更新し、30,000部増刷した。 今年度は、高速道路サービスエリア（赤城高原SA下り、上里SA下り）の2か所に設置したほか、県内近隣の道の駅（パティオにいがた・道の駅たがみ）に設置し、誘客促進を図った。 また、東京駅近くの観光施設「KITTE」、「TIC TOKYO」の2か所にパンフレットを設置した。 ●インバウンドを促進するため「燕と弥彦ぐるぐるMAP」の英語版・中国語繁体字版を作成した。															
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている															
	動き出した観光需要にあわせ、情報発信を強化し、誘客促進を図っていきたい。															
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6											
	➔															
事業費見込 (単位：千円)	750	3,000	3,000	3,000	3,000											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">特定財源等</td> <td style="width: 20%;">-</td> <td style="width: 20%;">-</td> <td style="width: 20%;">-</td> <td style="width: 20%;">-</td> <td style="width: 20%;">-</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>750</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> </tr> </table>					特定財源等	-	-	-	-	-	一般財源	750	3,000	3,000	3,000
特定財源等	-	-	-	-	-											
一般財源	750	3,000	3,000	3,000	3,000											
特定財源等の名称																
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用負担をする。															

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標(KPI)】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R4. 3末)	最新値 (R5. 3末見込)	評価	目標値 (R6)
燕市及び弥彦村の 観光入込客数 (暦年)	3,332,034人	2,600,723	3,053,091	△	3,752,000人
2次交通整備事業の 利用人数	305人	49	87	△	400人
道の駅国上・おもてな し広場来館者数	367,929人	271,150	392,301	○	404,000人
弥彦温泉宿泊数 (暦年)	88,193泊	54,930	64,000	△	91,000泊
産業観光視察受入人数 (燕市観光協会経由分)	2,102人	9,327	10,966	◎	3,500人

※達成状況は3段階で評価 (◎:目標値を達成、○:目標値に向かって順調、△:遅れている)

- 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野
 地域公共交通
 - 地域公共交通ネットワークの構築

事業名	コミュニティバス運行事業					
事業内容	圏域住民の生活に密接なバス路線の運行を維持拡充するため、圏域の主要駅や病院等を経由するバス路線の整備を図る。				関係市村	
					燕市 弥彦村	
期待される効果	生活交通路線の維持拡充により、高齢者や学生など自動車を運転できない住民の通院や通学など生活に必要な交通手段が確保され、圏域住民の利便性が図られる。					
実施状況 (R5.1末時点の 年度末見込)	【実証運行区間見直し】 令和2年10月より運行している燕市コミュニティバス実証運行（燕駅～大曲～燕三条駅～燕労災病院～新生町）において、令和4年10月より路線や時刻表などを見直し、実証運行を令和5年3月31日まで継続する。					
	【利用料金】 1回 100円（小学生以下無料） 【利用状況】 ・「スワロー号」乗車人数 25,044人（103.6人/日） (昨年度比 +1,501人（+5.7人/日）) ・「やひこ号」乗車人数 16,027人（65.9人/日） (昨年度比 +1,536人（+6.0人/日）) ・燕市コミュニティバス実証運行乗車人数 5,011人（20.6人/日） (昨年度比 +1,254人（+5.0人/日）) ※詳細については別添資料を参照					
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている					
	バス利用者数はコロナ禍前の水準には戻っていないが、昨年度と比べて微増となった。 令和6年3月の県央基幹病院開院に合わせて、運行ルートやダイヤを見直し、利便性向上を図る。					
実施スケジュール	R2	R3	R4	R5	R6	
	➔					
事業費見込 (単位：千円)	36,645	41,063	42,216	44,453	44,453	
	特定財源等	33,056	32,065	32,178	32,335	32,335
	一般財源	3,589	8,458	10,038	12,118	12,118
特定財源等の名称	地域公共交通確保維持改善事業、特別交付税（地方バス）					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。					

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R4.3末)	最新値 (R5.3末見込)	評価	目標値 (R6)
コミュニティバスの年間利用者数	53,404人	41,791人	46,081人	△	59,200人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

- 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野
 地域公共交通
 - 地域公共交通ネットワークの構築

事業名	予約制乗合ワゴン車運行事業				
事業内容	高齢者をはじめとする圏域住民の通院・通学や買い物などの生活活動を支えるとともに、公共交通空白地域の解消を図る。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	生活交通路線の維持拡充により、高齢者や学生など自動車を運転できない住民の通院や通学など生活に必要な交通手段が確保され、圏域住民の利便性が図られる。				
実施状況 (R5.1末時点 の年度末見込)	<p>予約制乗合ワゴン車「おでかけきららん号」は、運行エリアを燕市・弥彦村全域（H27.7.1～）とし、安全を第一に考えて運行している。 広報紙での記事掲載などで利用促進に努めており、車両の消毒や換気などといった感染防止策についても日々実施している。</p> <p>【利用料金（1回）】 大人（中学生以上） 300円 小学生 100円 未就学児 無料</p> <p>【利用状況】 エリア全体 35,329人（145.3人/日） （昨年度比 +731人（+2.4人/日）） ・東エリア＝燕地区、横田地区 ・西エリア＝吉田地区、分水地区、弥彦村（※横田を除く） ※詳細については別添資料を参照</p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている				
	デマンド交通の利用者数はコロナ禍前の水準には戻っていないが、昨年度と比べて微増となった。 デマンド交通システムを更改し、従来どおり電話での予約に加え、Webからも予約ができるようにすることで利便性向上を図る。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	➔				
事業費見込 (単位：千円)	44,684	46,595	48,952	58,513	51,856
特定財源等	36,947	33,085	34,656	42,357	42,684
一般財源	7,737	13,510	14,296	16,156	9,172
特定財源等の名称	地域公共交通確保維持改善事業、特別交付税（地方バス）、デジタル田園都市国家構想交付金				
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R4.3末)	最新値 (R5.3末見込)	評価	目標値 (R6)
予約制乗合ワゴン車の年間利用者数	38,652人	34,598人	35,329人	△	38,800人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

- 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野
 中心市等における人材の育成
 - 圏域職員の育成

事業名	職員合同研修事業				
事業内容	圏域内外から専門家を招へいし、地域活力の向上に資する研修を合同で開催することで、職員の資質向上を図るとともに圏域内職員の交流を促進する。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	職員の資質、能力の向上を図るとともに、職員間のネットワーク構築と連携強化が図られる。				
実施状況 (R5.1末時点の 年度末見込)	【実施状況】 ①接遇力向上・電話対応研修〔R4.4.19実施〕 ・対象：新採用職員、希望者（34名：燕市30名、弥彦村4名） ・講師：NTTネクシア 田辺紀子氏 ②行政実務のためのデータ分析研修〔R4.6.24実施〕 ・対象：主事～係長級職員（19名：燕市16名、弥彦村3名） ・講師：データ&ストーリー合同会社 柏木吉基氏 ③実務データ分析研修（フォローアップ編） 〔7月～10月 R4.11.17成果発表会〕 ・対象：主事～係長級職員（8名：燕市5名、弥彦村3名） ・講師：データ&ストーリー合同会社 柏木吉基氏 ④政策研究会（人口減少対策）〔R4.9.26実施〕 ・対象：三役、幹部職員、その他 （42名：燕市31名、弥彦村11名、ほか、燕市役所内で音声配信実施） ・講師：全世代型社会保障構築本部事務局総括事務局長 山崎史郎氏 ⑤メンタルヘルス研修〔R4.9.29実施〕 ・対象：新採用職員、希望者（38名：燕市27名、燕・弥彦総合事務組合9名） ・講師：石橋クリニック 石橋幸滋氏 ⑥クレーム対応研修〔R4.11.11実施〕 ・対象：採用3年目職員、希望者（燕市15名、弥彦村2名） ・講師：NTTネクシア 田辺紀子氏 ⑦公文書作成研修〔R4.11.22実施〕 ・対象：採用2年目職員、希望者（燕市21名、弥彦村3名） ・講師：株式会社ぎょうせい 上原等氏				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている 当初の予定どおり各種研修を合同で開催し、職員の資質向上を図っている。次年度も継続していきたい。				
実施スケジュール	R2	R3	R4	R5	R6
事業費見込 (単位：千円)	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500
特定財源等	-	-	-	-	-
一般財源	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	燕市が事業を実施し、弥彦村が事業経費の一部を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R4.3末)	最新値 (R5.3末見込)	評価	目標値 (R6)
来庁者満足度	83.5%	84.5%	89.90%	◎	85.0%
合同研修メニュー数	4メニュー	6メニュー	7メニュー	◎	6メニュー

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

- 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野
 中心市等における人材の育成
 - 外部人材の確保

事業名	外部人材活用事業				
事業内容	圏域内における生活機能の強化及び結びつきやネットワークの強化を推進するため、必要に応じ高度で専門的な知識等を有する人材を圏域外から招へいすることで、定住自立圏構想の取組の成果を高める。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	専門的な知識等を有する人材を積極的に活用することにより、地域の活性化が図られる。				
実施状況 (R5.1末時点の 年度末見込)	<p>【燕市】 平成23年度から専門的な経験や実践経験を有する外部人材を任期を定めて活用しながら、高度かつ専門化する行政課題に対応している。 令和4年度は、危機管理、広報企画、情報発信の分野に加え、新たに行政のデジタル化を推進するために情報政策分野で外部人材を活用している。それぞれ民間企業で長年培った知識や経験を活かし、専門的業務に従事するとともに、市民向けの出前講座や職員研修において講師を務めるなど人材の育成にあたっている。</p> <p>【弥彦村】 令和元年度から防災分野、令和3年度からは農業分野、図書館業務において、専門的な経験を有する人材を任期を定めて採用している。長年の知識や経験を活かし、専門的業務に従事している。</p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている				
	高度かつ専門化する行政課題に適切に対応するため、今後も引き続き、民間企業や公的機関等から専門的な知識等を有する人材の受入れを検討する。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	➔				
事業費見込※ 1	(40,000)	(40,000)	(48,000)	(48,000)	(48,000)
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	特定財源等 一般財源	(40,000)	(40,000)	(48,000)	(48,000)
特定財源等の 名称	※1「外部人材活用事業」における職員人件費は特別交付税の包括的財政措置の対象外のためカッコ書きしています。				
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標 (KPI)】

指標	基準値 (H30)	去年同期値 (R4.3末)	最新値 (R5.3末見込)	評価	目標値 (R6)
外部人材職員の招へい数 (期間中の累計)	5人	6人	9人	◎	6人

※達成状況は3段階で評価 (◎:目標値を達成、○:目標値に向かって順調、△:遅れている)

Ⅲ 共生ビジョン取組事務事業一覧表

(※事業費は、現時点での一般財源の合計見込額を記載しています)

項目	事業名	連携市村	事業費 (単位: 千円)						特定財源等	
			R2	R3	R4	R5	R6	計		
1 生活機能の強化										
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備									
	病児・病後児保育事業	燕市	10,502	10,830	10,830	10,830	10,830	53,822	子ども・子育て支援交付金	
		弥彦村	1,334	668	668	668	668	4,006		
		計	11,836	11,498	11,498	11,498	11,498	57,828		
	新潟大学寄附講座事業	燕市	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	34,000		
		弥彦村	680	680	680	680	680	3,400		
		計	7,480	7,480	7,480	7,480	7,480	37,400		
	看護職員修学資金貸付事業	燕市	-	7,200	12,009	15,609	24,600	59,418		
		弥彦村	-	180	960	960	2,100	4,200		
		計	-	7,380	12,969	16,569	26,700	63,618		
	介護人材育成促進事業	燕市	679	590	669	1,153	1,153	4,244		
		弥彦村	85	25	55	480	480	1,125		
		計	764	615	724	1,633	1,633	5,369		
	産業振興	広域観光の促進								
		観光エリア魅力アップ促進事業								
首都圏等観光PR事業		燕市	8,150	3,750	3,750	3,750	4,750	24,150	デジタル田園都市国家構想推進交付金	
		弥彦村	2,600	2,500	2,500	2,500	2,500	12,600		
		計	10,750	6,250	6,250	6,250	7,250	36,750		
産業観光ナビゲート事業		燕市	4,801	4,801	4,957	5,000	5,000	24,559	デジタル田園都市国家構想推進交付金	
		弥彦村	0	0	0	0	0	0		
		計	4,801	4,801	4,957	5,000	5,000	24,559		
観光協会運営支援事業		燕市	40,907	36,430	50,074	49,000	49,000	225,411	デジタル田園都市国家構想推進交付金	
		弥彦村	3,300	1,300	1,300	1,300	1,300	8,500		
		計	44,207	37,730	51,374	50,300	50,300	233,911		
2次交通整備事業		燕市	3,000	750	750	750	750	6,000	デジタル田園都市国家構想推進交付金	
		弥彦村	1,500	500	500	500	500	3,500		
		計	4,500	1,250	1,250	1,250	1,250	9,500		
観光複合施設管理運営事業		燕市	26,464	34,395	21,736	17,000	13,000	112,595	デジタル田園都市国家構想推進交付金、指定管理者納付金	
	弥彦村	4,045	3,374	3,387	3,401	3,401	17,608			
	計	30,509	37,769	25,123	20,401	16,401	130,203			
情報発信ツール活用事業	燕市	500	2,650	2,650	2,650	2,650	11,100			
	弥彦村	250	350	350	350	350	1,650			
	計	750	3,000	3,000	3,000	3,000	12,750			
①小計		燕市	101,803	108,196	114,225	112,542	118,533	555,299		
		弥彦村	13,794	9,577	10,400	10,839	11,979	56,589		
		計	115,597	117,773	124,625	123,381	130,512	611,888		
2 結びつきやネットワークの強化										
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築									
	コミュニティバス運行事業	燕市	2,621	3,544	4,211	5,053	5,053	20,482	地域公共交通確保維持改善事業、特別交付税(地方バス)	
		弥彦村	968	4,914	5,827	7,065	7,065	25,839		
		計	3,589	8,458	10,038	12,118	12,118	46,321		
	予約制乗合ワゴン車運行事業	燕市	6,455	6,772	7,165	8,104	7,653	36,149	地域公共交通確保維持改善事業、特別交付税(地方バス)	
		弥彦村	1,282	6,738	7,131	8,052	7,591	30,794		
		計	7,737	13,510	14,296	16,156	15,244	66,943		
	②小計		燕市	9,076	10,316	11,376	13,157	12,706	56,631	
			弥彦村	2,250	11,652	12,958	15,117	14,656	56,633	
			計	11,326	21,968	24,334	28,274	27,362	113,264	
3 圏域マネジメント能力の強化										
人材育成	圏域職員の育成									
	職員合同研修事業	燕市	1,080	1,300	1,300	1,300	1,300	6,280		
		弥彦村	120	200	200	200	200	920		
		計	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500	7,200		
	外部人材の確保									
	外部人材活用事業 ※1	燕市	(32,000)	(32,000)	(32,000)	(32,000)	(32,000)	(160,000)		
		弥彦村	(8,000)	(8,000)	(16,000)	(16,000)	(16,000)	(64,000)		
計		(40,000)	(40,000)	(48,000)	(48,000)	(48,000)	(224,000)			
③小計		燕市	1,080	1,300	1,300	1,300	1,300	6,280		
		弥彦村	120	200	200	200	200	920		
		計	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500	7,200		
①+②+③ 合計		燕市	111,959	119,812	126,901	126,999	132,539	618,210		
		弥彦村	16,164	21,429	23,558	26,156	26,835	114,142		
		計	128,123	141,241	150,459	153,155	159,374	732,352		

※1 「外部人材活用事業」における職員人件費は特別交付税の包括的財政措置の対象外のためカッコ書きし、集計には含めていません。